

「すみません」というあいさつが与える気配り

済州大学校 4 年

チョン・ヒヨン

私は日本語を勉強しながら、日本について知りたいことがたくさん出てきた。そして、次第に多くのことがわかるようになった。その中の一つに、日本人が生活の中でよく「すみません」と言っていて、それがなぜなのか知りたくなりになった。調べてみると、面白い内容がわかった。それは、日本の「和」という理念が日本人の美德に反映しており、その影響でよく「すみません」と言っているのだと知った。今回は、この価値観について紹介したい。

日本のドラマやアニメを見ると、日本人はよく「すみません」という言葉を使っている。例えば、自分の過失について謝る時「すみません」と言う。それ以外では、誰かに足を踏まれた時「私が足を出していたから…すみません」と、相手の過失で迷惑を受けた時も使い、誰かに仕事を手伝ってもらった時にも「ありがとうございます」と言うわけではなく「すみません」と言っている。さらに、相手に話しかける時も「あのう、すみませんが…」と言い、お店で注文する時にも「すみません」と言っている。

このように「すみません」という言葉は日本人の間では習慣のように使われているようだ。日本語を勉強し始めた当初は、日本人がいつ「すみません」と言うか、どんな意味として使っているか理解できなかったが、勉強しながら理解できるようになった。それは日本には「和」という思想があるからだ。「和」といえば、人々と仲良くするという意味を持っている。だから日本人は、お互い協力し平和な社会を作るため、他人に迷惑をかけないように行動しなければならないと考えてきた。日本の親も子供に対して、「他人に迷惑をかけてはいけない」と教えて育てているようだ。このように「和」という理念が日本人の生活と態度にさまざまな影響を及ぼしている。このような文化についてよくわからない私を含めた外国人にとって「すみません」という言葉は、ただ謝るという意味だけを持つのだと思っていた。しかし日本人にとっては自分の過失に関する謝り以外に、ありがたいし済まない気持ちなどを含んださまざまな感情を表している言葉である。ただの言葉であるが、まるで人間と人間がつながっている線のようだ。

先日、日本人の友達に韓国語を教えてあげたことがある。ろくに教えてあげられなかったと思い、「すみません、実力が足りなくて…」と言ったら、その友達が「いいえ、こちらこそすみません」と言ってくれた。その言葉を聞いて、相手が私に気配りをしていてくれていると感じられた。「すみません」という言葉には相手に迷惑をかけないようにする日本人の気持ちがある

と考えるようになった。一番基本的なあいさつのようなものだが、相手に気配りをし、尊敬する気持ちがあると思っている。

最近、自分の利益のためなら、相手の気持ちは自分とは関係ないことだと思っている人が増えている。自己中心的な思考のせいで、相手に迷惑をかけているし、傷付けてしまっている。

「売り言葉に買い言葉」ということわざもあるように、悪い言葉を受けたら悪い言葉で返し相手を傷付けてしまっていることが残念だと思う。だから、もし自分が言った言葉のせいで他人の心を傷付けてしまったら省みる必要がある。そのため、「すみません」のように相手の心を読み、傷付けないためのあいさつが一番大事なことだと思う。

「すみません」という言葉はただの言語の一つだが、その言葉の中に「迷惑をかけないように」という日本人の考え方がある。そして「すみません」というあいさつを通じて他人に気配りと感動を与えている。友達がまだ日本についてよく知らないなら、こんなところについても初めは理解できないと思う。私が勉強しながら、どうして「すみません」という言葉に興味を持つようになったか、日本人はなぜ「すみません」とよく言っているかなど、日本についてのさまざまなことを教えてあげたい。もし日本についてよく知っている人なら、私が知っている「すみません」という言葉の意味以外に、他のさまざまな韓国と日本についてお互いに教え合いながら、話し合ってみたい。